

## 幸いな目、耳

マタイによる福音書一三章10〜23節

しかし、あなたがたの目は見ているから幸いだ。あなたがたの耳は聞いているから幸いだ。(16)

主イエスは神の言葉を聞いても理解しようとしないう人々が多いことを嘆かれました。その一方で、弟子たちに対しては「あなたがたの目は見えているから幸いだ」と言われました。この原文はもつと強い表現で、「幸いなるかな、あなたがたの目よ、耳よ」という言葉です。「幸いなるかな」と言えば、山上の説教の「心の貧しい人々は、幸いである」(五3)の御言葉を思い起こすでしょう。あのとときと同じように、主イエスは私たちの目や耳を指しながら、「幸いなるかな」と喜びに溢れて祝福の言葉を語ってくださいます。「神は本当に生きておられるのか」と疑いたくなるような現実の生活の中で、御言葉を通して、「神は今ここで生きて働いておられる」と信じて悟る者たちは神に祝福された幸いな者たちだと言われるのです。神の言葉を素直に受け入れる幸いな目と耳を大切にしたいものです。